

かけはし

研究によせて

本園・本校は、令和元年度より東京都教育委員会及び荒川区教育委員会のモデル園・校として、「就学前教育と小学校教育の円滑な接続」を目指した取組をしております。

今年度も感染症対策に十分留意しながら幼児と児童の交流の機会を設けたり、教職員間の連携を深めたりしながら保育・教育活動を展開しています。

来年度小学校に入学する5歳児にとっては、「ななはけラボ」をはじめとする小学校内の施設で活動したり、小学校の児童や教職員と交流をもったりすることで学校生活への期待感や興味関心が芽生えてくることを期待しています。1年生、2年生の児童は、「ななはけラボ」を活用し、幼児期からの経験を大切に学習活動を行うことで、楽しみながら学びに向かう様子が見られます。本号では、それらの活動の一部をご紹介します。

町屋幼稚園5歳児 研究保育「折り返しリレーで遊ぼう」

夏休みを経て、少しお兄さん・お姉さんになったいるか組の子どもたち。最近のブームは「リレー遊び」のようです。水を入れたバケツを運ぶリレー遊びを楽しんだり、「何秒で戻って来られるかな!？」と、声を合わせて数を数えてみたりと、楽しみ方は様々です。そんな中、いるか組のみんなを4グループに分けて、バトンリレーの遊びをやってみることにしました。保育者の「勝つための秘密の作戦を考えよう」という言葉



がけに、園児たちは大盛り上がり。車座になって話し合いをするグループや、かけっこ名人がお手本を見せているグループ、考えた作戦を実際に練習してみるグループなど、思い思いに作戦会議をしています。このように、自分の思いを言葉や動きで伝え合う経験が、小学校での学習につながっていきます。そのあとのリレー勝負はどの子も真剣そのもの。夢中になって遊び込む姿が印象的でした。

「つくって ためして」 ～手作りおもちゃで交流しよう～

2年生の生活科「つくって ためして」は、身近にあるものを利用して遊びに使うものを工夫して作る学習活動です。2年生が試行錯誤して作り上げたおもちゃは、磁石の力を利用した釣りゲームや、輪ゴムを使ったパッチンガエルのおもちゃ、帆をつけた車に風を当てて走らせるヨットカーなど、遊びごたえのあるものがずらり。すると「1年生や幼稚園の子たちと一緒に遊びたいな」と言う2年生の子どもたち。(実は、去年も一昨年も、そんな風に交流して楽しんだのでした。)1年生とは「ななはけラボ」で、園児とは町屋幼稚園の園舎でおもちゃ遊びを楽しみました。



七峡小 2年生

パッチンガエルの動力はゴム。釣りゲームでクリップがくっつくのは磁石の力…
実は、遊びの中に理科の学習につながる気付きがたくさん詰まっています。



七峡小 1・2年生

「ななはけラボ」で手作りおもちゃの交流会。2年生になったら自分もやってみたいと、わくわくが募る1年生です。



園舎にて

園児と2年生

手作りおもちゃを持って園舎を訪ねた2年生。小さい子どもたちが遊びを楽しめるように、園児の様子を見ながら遊びをさらに工夫します。



町屋幼稚園 園児

とっても楽しかった、2年生とのおもちゃ遊び！
「自分でも動くおもちゃを作りたい！」

生活科での自然観察や身近なものを使った遊び、動植物に触れる学習は、3年生以降の理科などの学習につながっていく大切な学習活動です。そして、見る・聞く・触るなどの諸感覚を使って活動に没入するための土台は幼児期の主体的な遊びによって育まれます。幼児教育と小学校教育それぞれのよさや特性を教職員が互いに理解し、一層の円滑な接続を目指します。

未来の6年生も、頑張っています!!

来年度に最高学年となる5年生は、1年間の5歳児との交流を通して思いやりや責任感、高学年としての自信を育てています。幼稚園の運動会の前には、5歳児の演目（パラバルーン）を参観し、激励の言葉をかけました。「上手だね」「頑張ってるね」「応援しているよ」。そんな5年生の言葉を聞いて、にっこり笑顔になる5歳児でした。

